資料２

令和７年度環境調査の結果について

１　はじめに

環境調査は、旭川市廃棄物処分場及び中園廃棄物最終処分場跡地の維持管理状況と周辺環境に与える影響を把握することを目的として、水質試験やガスの測定などを行っています。

２　調査内容

・浸出水（埋立地から出る水）と処理水（水処理後に河川に放流する水）の水質
・処分場周縁の地下水の水質
・埋め立てたごみが地中で分解する際に発生するガス（二酸化炭素、メタン等）の成分、流量
・分解に伴う反応熱により上昇する地中温度

３　令和７年度の環境調査内容

⑴　令和７年度旭川市廃棄物処分場ほか環境調査結果のまとめ

施設名	調査対象	法定基準	廃止基準	調査結果	報告書
旭川市廃棄物処分場	浸出水			ー	P9～10
	処理水	○		法定基準値及び自主基準値を超過した項目なし	P9、11
	地下水	○		法定基準値を超過した項目なし	P12
	埋立地内発生ガス			４地点中３地点でガスが発生。メタンと二酸化炭素を検出	P13
	地中温度			４地点中２地点で参考とした評価比較値（温度）を超過	P14
中園廃棄物最終処分場	浸出水		○	廃止基準値（生活環境項目等）を超過した項目なし	P15
	処理水	○		法定基準値（生活環境項目等）を超過した項目なし	P15～16
	埋立地内発生ガス		○	ガスが発生。メタンと二酸化炭素を検出	P17
	地中温度		○	５月に 16 地点、廃止後の 11 月に８地点で調査。４地点で評価比較値（温度）を超過	P18～21

法定基準：法律で測定が義務づけられ基準が定められている調査内容に○印
廃止基準：法律で処分場の廃止に係る基準等が定められている調査内容に○印
調査結果：法定基準値、自主基準値及び環境基準値等と比較した結果を記載
報 告 書：「旭川市廃棄物処分場ほか環境調査業務報告書（概要版）」の該当ページ

⑵　旭川市廃棄物処分場ほか環境調査業務報告書（概要版）について（P4～P26）

ア　調査概要（P6～8）

各処分場における調査の種類と調査箇所数、調査地点

・法定基準項目測定地点…処理水（黄色）、地下水（ピンク色）

・それ以外の地点…法律の定めがなく、市が独自に調査した地点

※中園廃棄物最終処分場は令和７年７月に廃止したため、法定基準の対象外（調査回数や項目を精査して監視を実施）

これまで８月と２月に行っていた浸出水及び処理水の有害物質等の調査と８月に行っていた地下水の調査は実施せず。

埋立地内発生ガスと地中温度の調査は、これまでガス抜き管 16 地点で年４回（５月、８月、11 月、２月）に実施していたが、年２回（５月は 16 地点、11 月は８地点）実施

イ　旭川市廃棄物処分場の調査結果

（ア）浸出水及び処理水の調査（P9～11）

埋立地から出る浸出水と、それを処理した後の処理水について毎月調査を実施。法定基準値及び自主基準値の規定がある処理水は、全ての項目で各基準値を満たす。

●浸出水水質の推移（P22）

平成 15 年度の埋立当初は埋立廃棄物が少なく事業系生ごみを受け入れていたので、ＢＯＤ、ＣＯＤ、ＳＳが非常に高い数値を示していたが、平成 19 年から事業系生ごみを搬入規制したため、雨等の気象条件による突発的な高い数値を除き数値が低く安定

（イ）地下水調査（P12）

周縁地下水が処分場の影響を受けていないか確認するため、埋立地の上流側と下流側の２地点（観測井戸 No５、No６）の地下水について、年１回（８月）調査を実施。全ての項目で法定基準値以下となっており、塩化物イオン、電気伝導率も大きな差はなく低い値なので、埋立地内の汚水の影響がないことを確認

（ウ）埋立地内発生ガス調査（P13）

埋立地から発生するガスの状況を把握するため、埋立地内の４地点において、年２回（９月、２月）調査を実施。４地点中３地点でガスが発生

●経年推移（P23）

・地点 a、d は、メタン、二酸化炭素濃度が上昇した時期はあったが、現在は低下

・地点 d は、外気を吸い込む状態

・地点 a-2、b は、数値の変動はあるものの、二酸化炭素は不検出～20%程度、メタンは過去３年間では a-2 で不検出～１%程度、b で２～10%程度で推移

（エ）地中温度調査（P14）

埋立地内部の温度を把握するため、埋立地内の４地点において、年２回（９月、２月）調査を実施。地点 a-2 と b の地中温度が他の箇所より高くなっているが、廃棄物の分解により生じた反応熱の影響を強く受けていると考えられる。

●経年推移（P23）

参考として江丹別の平均気温＋20℃を評価比較値とする。

地点 a と d は、比較値と同程度か低い値。地点 a-2 ｔ b は、比較値より高い値

ウ　中園廃棄物最終処分場の調査結果

（ア）浸出水及び処理水の調査（P15～16）

埋立地から出る浸出水と、それを処理した後の処理水について処分場を廃止した令和７年７月まで生活環境項目等を毎月調査を実施。処理水は全ての項目で法定基準値を満たす。浸出水も全ての項目で廃止基準値を満たす。

令和８年２月にＢＯＤとＳＳのみ調査を実施

●浸出水水質の推移（P24）

雨の影響等によりばらつきがあるものの、自主基準値改定以降はほぼ基準値内

（イ）埋立地内発生ガス調査（P17）

埋立地から発生するガスの状況を把握するため、ガス抜き管 16 地点を対象として５月に調査を実施。処分場廃止後は８地点を対象として 11 月に調査を実施。全ての地点でガスが発生しており、６－５以外の地点でメタン、二酸化炭素、アンモニア、硫化水素を検出

●各地点の詳細（P25）

地点 D-1、A-29、A-37、A-25、B-22 のガス発生量（メタン＋二酸化炭素）が他の地点と比べて多い状況

（ウ）地中温度調査（P18～21）

●各地点の 10ｍ以下の深さの最高温度（P24）

埋立地内部の温度を把握するため、ガス抜き管 16 地点及び観測孔（№１、№３）２地点において５月に調査を実施。処分場廃止後はガス抜き管８地点及び観測孔（№１、№３）２地点において 11 月に調査を実施

廃棄物資源循環学会において、評価方法は地表の温度の影響を受けないと判断される深さにおいて、周辺の土地における同じ深さの地中温度を測定すること、周辺の地中温度との差が 20℃未満とされていることから、一般に気温変動を受けない深さとされる 10ｍ以下の深さの最高温度と同じ深さの地下水観測孔Ｎｏ1 の温度と比較

地点 A-29、A-37、６－５、A-25 では、評価比較とした 20℃を上回る。

旭川市廃棄物処分場ほか
環境調査業務

報　　告　　書
（概要版）

令和８年３月

旭　　川　　市

目　　次

１．調査の目的 6
２．調査概要 6
３．調査内容及び結果　＜令和７年度環境調査の結果＞ 9
３．１.旭川市廃棄物処分場 9
（１）浸出水及び処理水の調査 9
（２）地下水調査 12
（３）埋立地内発生ガス調査 13
（４）地中温度調査 14
３．２.中園廃棄物最終処分場 15
（１）浸出水及び処理水の調査 15
（２）埋立地内発生ガス調査 17
（３）地中温度調査 18

1. 調査の目的

この調査は、旭川市廃棄物処分場及び中園廃棄物最終処分場の維持管理状況と周辺環境に与える影響を把握するために実施しました。

2. 調査概要

令和 7 年度の調査は、表 2.1 に示した内容で行いました。

表 2.1　調査概要

対象処分場	調査の種類	調査箇所数
旭川市廃棄物処分場	浸出水及び処理水	浸出水 1 箇所、処理水 1 箇所
	地下水	2 箇所
	埋立地内発生ガス	4 箇所
	地中温度	4 箇所
中園廃棄物最終処分場	浸出水及び処理水	浸出水 1 箇所、処理水 1 箇所
	埋立地内発生ガス	16 箇所(既設分)
	地中温度	16 箇所(既設分)、観測孔 2 箇所

旭川市廃棄物処分場の調査箇所を図 2.1 に、中園廃棄物最終処分場の調査箇所を図 2.2 及び図 2.3 に示しました。

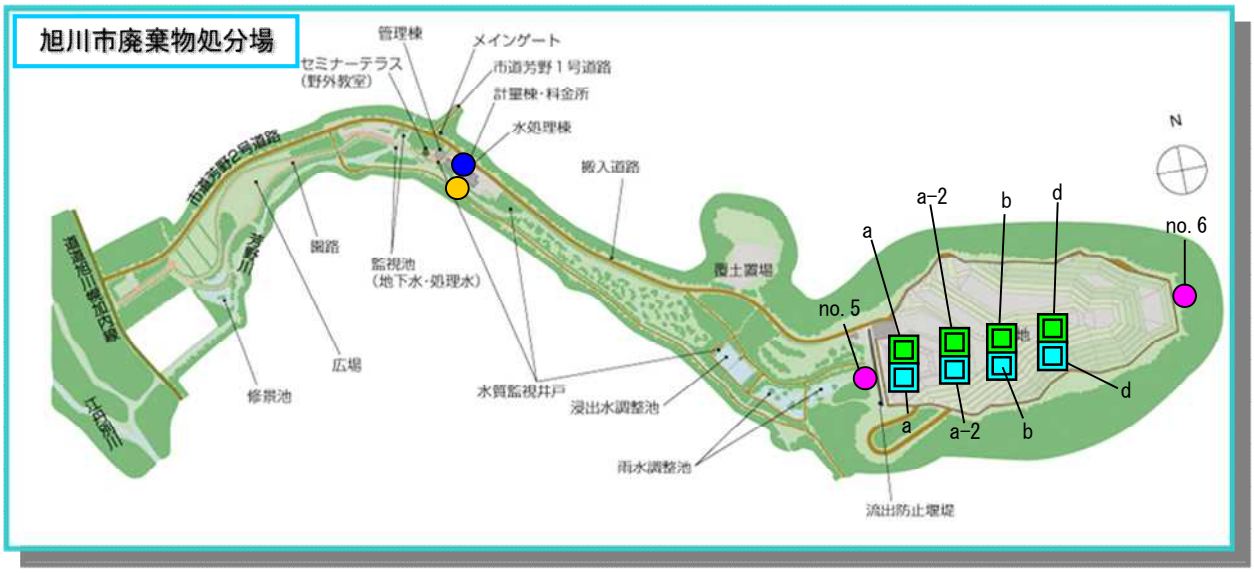


図 2.1　調査箇所図（旭川市廃棄物処分場）

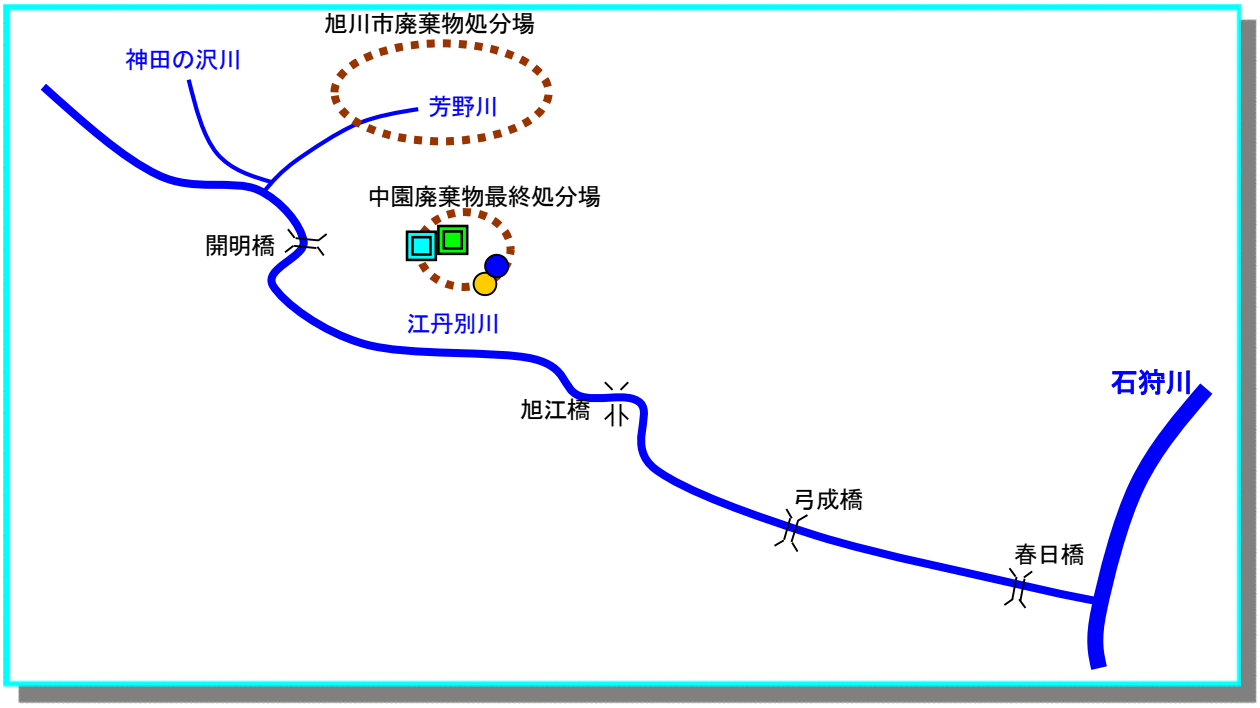
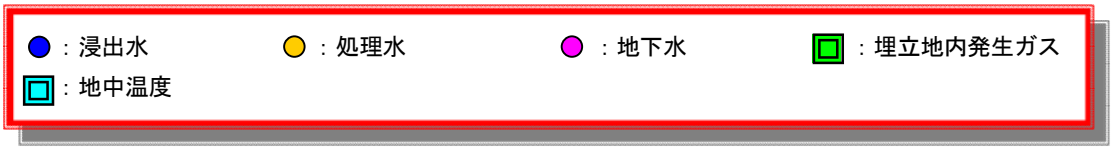


図 2.2　調査箇所図（中園廃棄物最終処分場）



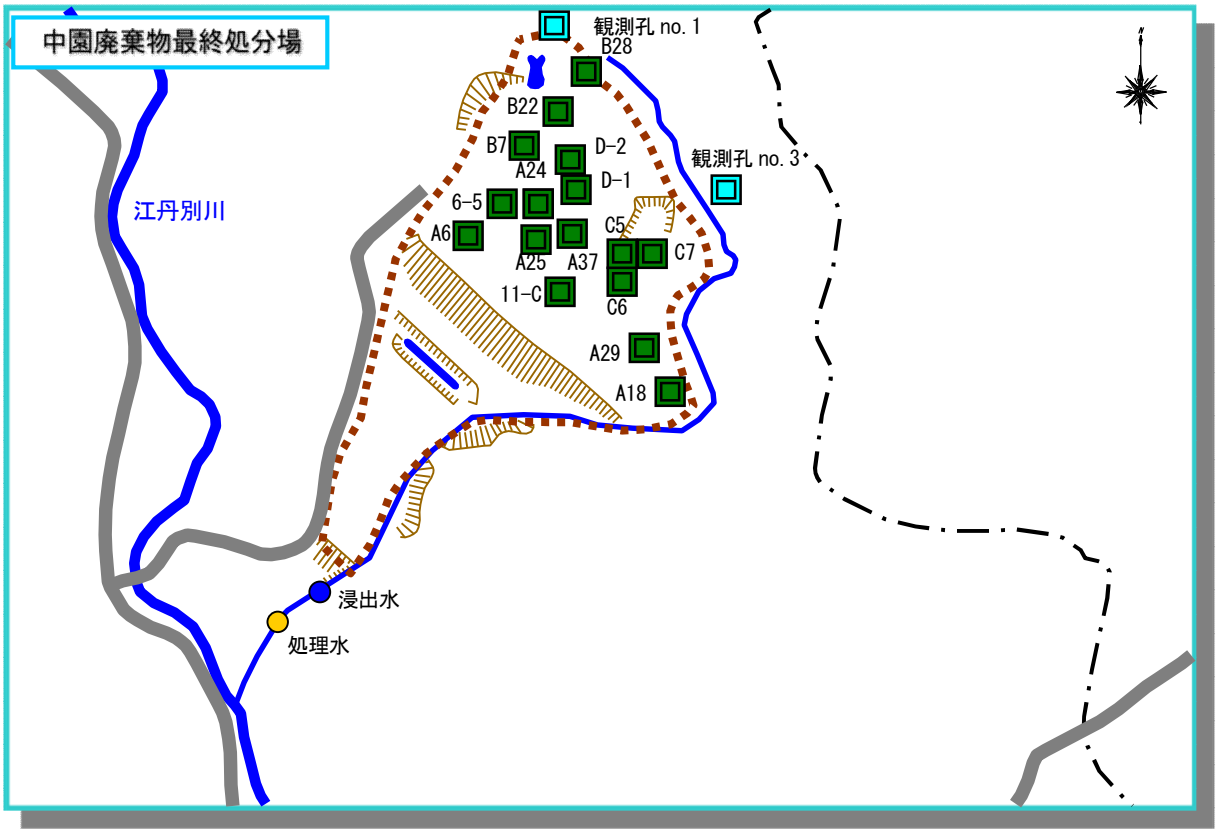


図 2.3　調査箇所図（中園廃棄物最終処分場　詳細図）



３．調査内容及び結果　＜令和７年度環境調査の結果＞

３．１．旭川市廃棄物処分場

（１）浸出水及び処理水の調査

■調査内容：　処分場の浸出水及び処理水の状況を把握するため、毎月水質調査を行いました。

■調査時期：　令和７年４月から令和８年３月まで毎月１か月ごとに維持管理に係る項目を、令和７年８月及び令和８年２月に排水基準等に係る項目を、令和７年８月にダイオキシン類の調査をそれぞれ実施。

調査日：令和７年／4 月 23 日、5 月 21 日、6 月 11 日、7 月 9 日、
8 月 6 日、9 月 17 日、10 月 8 日、11 月 5 日、
12 月 10 日
令和８年／1 月 7 日、2 月 18 日、3 月 11 日

■調査結果：　浸出水及び処理水の調査結果を、表 3.1.1 と表 3.1.2 に示します。
処理水では、生物化学的酸素要求量(BOD)、化学的酸素要求量(COD)、浮遊物質量(SS)、大腸菌数及び窒素については、浸出水と比較して数値が低くなっており、施設が正常に稼動していることが確認できました。

表 3.1.1　浸出水の調査結果

（調査；箇所数：1、頻度：一般項目／月１回、その他／年２回）

項目		単位	令和５年度 (調査／月1回×計12回)	令和６年度 (調査／月1回×計12回)	令和７年度 (調査／月1回×計12回)	法定基準 (自主基準値)
生活環境項目等	ｐＨ	pH	7.7～8.0	7.7～8.3	7.7～8.3	－
	ＢＯＤ	mg/L	24～56	1.7～83	6.4～59	－
	ＣＯＤ	mg/L	33～63	34～53	29～49	－
	ＳＳ	mg/L	2～23	5～120	4～46	－
	大腸菌数* 令和5～6年は大腸菌群数（個/mL）	CFU/mL	不検出～1,100	79～5,900	不検出～4	－
	窒素含有量	mg/L	25～70	27～49	26～37	－
	塩化物イオン	mg/L	870～2,000	1,100～1,900	780～1,600	－
	電気伝導率	mS/m	310～636	200～560	249～493	－
	透視度	度	18～30 以上	9～30 以上	13～30 以上	－

項目		単位	令和５年度		令和６年度		令和７年度		法定基準
			8/2	2/7	8/7	3/11	8/6	2/18	
生活環境項目等	亜鉛	mg/L	0.04	0.05	不検出	不検出	0.02	0.03	－
	溶解性鉄	mg/L	0.28	0.18	0.5	不検出	0.19	0.20	－
	溶解性マンガン	mg/L	0.54	1.1	0.1	0.2	0.23	0.69	－
	カルシウムイオン	mg/L	130	130	81	62	88	120	－
有害物質等	鉛	mg/L	0.001	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	－
	砒素	mg/L	0.005	0.002	不検出	不検出	0.002	0.002	－
	ほう素	mg/L	0.9	0.8	0.8	0.6	0.7	0.7	－
	ふっ素	mg/L	0.22	0.22	不検出	不検出	0.24	0.25	－
	ｱﾝﾓﾆｱ，ｱﾝﾓﾆｳﾑ化合物，亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	31	31	15	21	25	27	－

（検査しているが３年間不検出の項目）

①生活環境項目等…ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類、鉱油類)、フェノール類、クロム、銅
②有 害 物 質 等…カドミウム、全シアン、有機リン、六価クロム、アルキル水銀、総水銀、ポリ塩化ビフェニル、揮発性有機塩素化合物（10物質)、農薬類（3物質)、ベンゼン、セレン、1.4-ジオキサン

＊「排水基準を定める省令」の令和７年４月１日の改正により「大腸菌群数」から「大腸菌数」へと変更となりました。

表 3.1.2　処理水の調査結果

（調査；箇所数：1、頻度：一般項目／月 1 回、その他／年 2 回）

項　　目		単位	令和 5 年度 (調査／月1回×計12回)	令和 6 年度 (調査／月1回×計12回)	令和 7 年度 (調査／月1回×計12回)	法定基準[注 1)] （自主基準値）
生活環境項目等	ｐＨ	pH	7.3～7.8	7.0～7.7	7.1～7.6	5.8～8.6
	ＢＯＤ	mg/L	不検出～9.0	不検出～5.4	不検出～6.8	60 以下 (20 以下)
	ＣＯＤ	mg/L	16～24	11～23	5.5～25	― (30 以下)
	ＳＳ	mg/L	全て不検出	不検出～3	不検出～7	60 以下 (10 以下)
	大腸菌数[注 3)] 令和 5～6 年は大腸菌群数（個/mL）	CFU/mL	不検出～16	不検出～300	不検出	800 以下 (3,000 以下)
	窒素含有量	mg/L	3.4～6.7	3.4～6.4	2.1～7.2	― (10 以下)
	塩化物イオン	mg/L	1,200～2,000	890～1,900	960～1,800	―
	電気伝導率	mS/m	347～573	200～560	250～474	―
	透視度	度	全て 30 以上	全て 30 以上	全て 30 以上	―

項　　目		単位	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		法定基準[注 2)]
			8/2	2/7	8/7	3/11	8/6	2/18	
生活環境項目	亜鉛	mg/L	0.01	0.01	不検出	不検出	0.02	0.01	2 以下
	溶解性マンガン	mg/L	不検出	0.13	0.1	不検出	不検出	不検出	10 以下
	カルシウムイオン	mg/L	130	120	75	66	120	120	―
有害物質等	砒素	mg/L	不検出	0.001	不検出	不検出	不検出	不検出	0.1 以下
	ほう素	mg/L	0.8	0.6	1.3	0.7	0.7	0.6	50 以下
	ふっ素	mg/L	0.20	0.21	不検出	不検出	0.26	0.25	15 以下
	ｱﾝﾓﾆｱ,ｱﾝﾓﾆｳﾑ化合物,亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	3.5	1.6	2.1	3.0	1.6	2.5	200 以下
ダイオキシン類		pg-TEQ/L	0.00028	―	0.00019	―	0.000018	―	10 以下[注 2)]

（検査しているが 3 年間不検出の項目）

① 生活環境項目等…ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類・鉱油類)、フェノール類、クロム、銅、溶解性鉄
② 有 害 物 質 等…カドミウム、鉛、全シアン、有機リン、六価クロム、総水銀、アルキル水銀、ポリ塩化ビフェニル、揮発性有機塩素化合物（10 物質）、農薬類（3 物質）、ベンゼン 、セレン、1,4-ジオキサン、総水銀

注 1)「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める命令」より
注 2)「ダイオキシン類対策特別措置法に基づく廃棄物最終処分場の維持管理の基準を定める省令」より
注 3)「排水基準を定める省令」の令和 7 年 4 月 1 日の改正により「大腸菌群数」から「大腸菌数」へと変更となりました。

（２）地下水調査

■調査内容：　周縁地下水が処分場の影響を受けていないかについて、埋立地の上流側と下流側の 2 箇所の観測井戸で調査を行いました。

■調査時期：　令和 7 年 8 月 6 日に実施。

■調査結果：　調査結果を表 3.2 に示します。

塩化物イオン、電気伝導率が低い値を示していることから、処分場の影響を受けていないことが確認できました。

今回の調査では過去３年間不検出であったふっ素が検出※されましたが、結果は基準値以下でした。また、その他の項目については過年度と比較しても大きな変化はなく、基準値以下となっています。

※過去のふっ素の検出状況

平成 23 年度 0.18～0.23mg/L、平成 25 年度 0.09～0.11mg/L。
（他の年は全て不検出）

表 3.2　地下水の調査結果（観測井戸）

（調査；箇所数 平成 16 年度以前：6、平成 17 年度以降：2、頻度：年 1 回）

項　　目	単位	供用前（平成14年度）	供用後			基準値注1)	[参考] 環境基準値注2)
			令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度		
ｐＨ	pH	6.1～7.5	6.8～7.7	6.5～7.3	6.9～7.7	－	－
塩化物イオン	mg/L	5.2～24.6	5.8～9.0	4.3～6.2	5.3～7.3	－	－
電気伝導率	mS/m	4.8～38.2	9.6～18.7	8.9～14	10.6～15.5	－	－
ふっ素	mg/L	不検出	不検出	不検出	0.09～0.10	－	0.8 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.10～0.71	0.08～0.48	0.4～0.7	0.13～0.51	－	10 以下
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.058～0.60	0.026～0.030	0.069～0.070	0.026	－	1 以下注3)

（検査しているが 3 年間不検出の項目）

有害物質等…砒素、カドミウム、鉛、全シアン、六価クロム、総水銀、アルキル水銀、ポリ塩化ビフェニル、揮発性有機塩素化合物（12 物質）、農薬（3 物質）、ベンゼン、セレン、ほう素、1,4-ジオキサン

注 1)「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」より
注 2)「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」より
注 3)「ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁及び土壌の汚染に係る環境基準について」より

（３）埋立地内発生ガス調査

■調査内容：　処分場の埋立地からの発生ガスの状況を把握するために、埋立地内 4 箇所で発生ガス調査を行いました。

■調査時期：　令和 7 年 9 月 24 日、令和 8 年 2 月 19 日に実施。

■調査結果：　調査結果を表 3.3 に示します。
メタンについては、9 月は d 地点以外で検出されており、2 月は a-2 地点及び b 地点で検出されています。

表 3.3　発生ガスの調査結果
（調査；箇所数～4 箇所、頻度～年 2 回）

項　　目	単位	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	[参考] 基準値[注 1)]
ガス発生量	L/分	96～3917	139～3414	-837～886	－
メタン	%	不検出～10	不検出～10.8	不検出～7.0	－
一酸化炭素	%	全て不検出	全て不検出	全て不検出	－
二酸化炭素	%	不検出～14	不検出～18.9	不検出～12	－
アンモニア	ppm	全て不検出	全て不検出	不検出～0.1	－
硫化水素	ppm	不検出～1.1	不検出～15.7	不検出～1.1	－
酸素	%	6.9～21	10～21.4	9.3～21	－
窒素	%	68～78	69.3～81.7	70～80	－

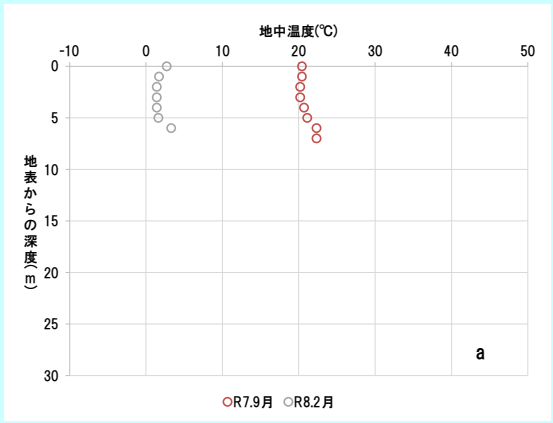
注 1）基準値は無く発生状況を確認し、埋立物の状態について把握しておくこととされています。

（４）地中温度調査

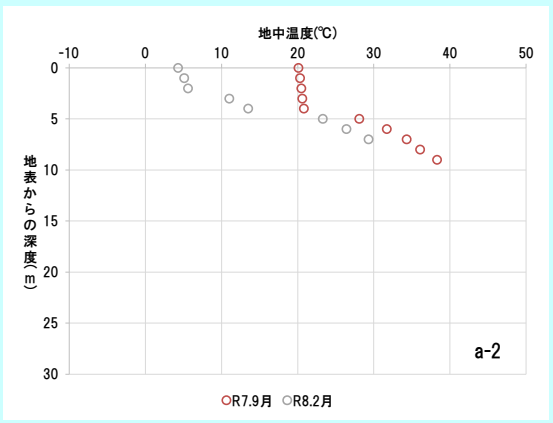
■調査内容：　埋立地の内部の温度を把握するために、4 箇所で地中温度調査を行いました。

■調査時期：　令和 7 年 9 月 24 日、令和 8 年 2 月 19 日に実施。

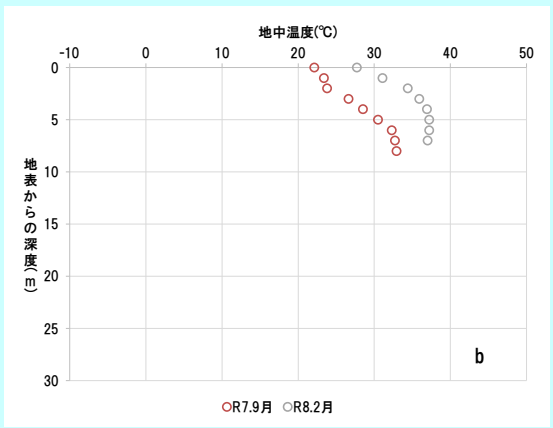
■調査結果：　調査結果を図 3.1 に示します。
a-2 地点及び b 地点の地中温度が他の箇所より高くなっています。これは，廃棄物の分解により生じた反応熱の影響を強く受けていると考えられます。



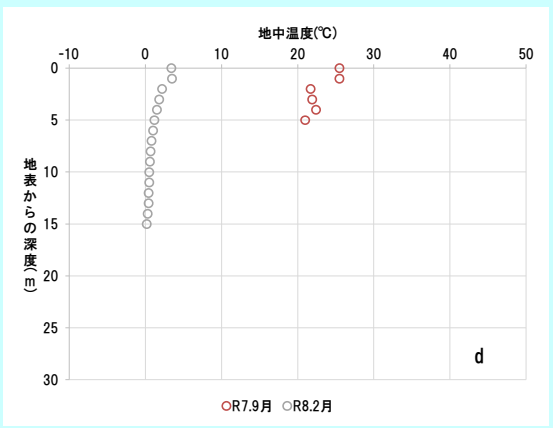
a 地点



a-2 地点



b 地点



d 地点

図 3.1 地中温度の調査結果

（調査；箇所数～４、頻度～年２回）

3.2.中園廃棄物最終処分場

（１）浸出水及び処理水の調査

■調査内容：　処分場の浸出水及び処理水の状況を把握するため、水質調査を行いました。

■調査時期：　令和７年４月から令和７年７月まで毎月１か月ごとに維持管理に係る項目を実施。

調査日；令和７年／4 月 23 日、5 月 21 日、6 月 11 日、7 月 9 日

■調査結果：　浸出水と処理水の調査結果を、表 3.4.1 と表 3.4.2 に示します。

処理水については、全ての項目で法定基準値及び自主基準値を満たしています。

表 3.4.1　浸出水の主な項目の調査結果

（調査；箇所数：1、頻度：一般項目／月１回）

項　　目		単位	令和５年度（調査／年 12 回）	令和６年度（調査／年 12 回）	令和７年度（調査／年４回）	［参考］廃止基準[注 1)]（自主基準値）
生活環境項目等	ｐＨ	pH	7.4～7.9	7.2～7.9	7.4～7.9	5.8～8.6
	ＢＯＤ	mg/L	1.9～24	1.2～13	3.6～11	60 以下
	ＣＯＤ	mg/L	14～21	15～23	13～18	—
	ＴＯＣ	mg/L	11～16	11～17	9.9～14	—
	ＳＳ	mg/L	12～32	19～29	17～33	60 以下
	大腸菌数[注 2]（大腸菌群数）	CFU/mL（個/mL）	不検出～820	18～2500	不検出	800 以下（3,000 以下）
	窒素含有量	mg/L	37～56	41～56	32～54	—
	塩化物イオン	mg/L	50～85	42～62	48～72	—
	電気伝導率	mS/m	115～174	63～120	88.5～107	—

注 1)「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」より

注 2)「排水基準を定める省令」の令和７年４月１日の改正により「大腸菌群数」から「大腸菌数」へと変更となりました。

表 3.4.2　処理水の主な項目の調査結果

（調査；箇所数：1、頻度：一般項目／月 1 回）

項　　目		単位	令和 5 年度 （調査／年 12 回）	令和 6 年度 （調査／年 12 回）	令和 7 年度 （調査／年 4 回）	法定基準[注 1)] （自主基準値）
生活環境項目等	ｐＨ	pH	7.7～8.1	7.4～7.9	7.3～8.0	5.8～8.6
	ＢＯＤ	mg/L	不検出～5.8	不検出～3.3	不検出～1.4	60 以下
	ＣＯＤ	mg/L	13～25	13～20	12～19	―
	ＳＳ	mg/L	10～23	13～21	14～18	60 以下
	大腸菌数[注 2] （大腸菌群数）	CFU/mL (個/mL)	不検出～190	不検出～380	不検出	800 以下 (3,000 以下)
	窒素含有量	mg/L	31～49	33～48	29～41	―
	塩化物イオン	mg/L	37～75	36～57	37～63	―
	電気伝導率	mS/m	87～149	58～110	79.5～96.6	―

注 1)「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」より
注 2)「排水基準を定める省令」の令和 7 年 4 月 1 日の改正により「大腸菌群数」から「大腸菌数」へと変更となりました。

（２）埋立地内発生ガス調査

■調査内容：　埋立地からの発生ガスの状況を把握するために、既設ガス抜き管 16 箇所で発生ガス調査を行いました。

■調査時期：　令和 7 年 5 月 21 日及び 22 日（16 箇所）、11 月 5 日～7 日（8 箇所）に実施。

■調査結果：　調査結果を表 3.5 に示します。
メタンについては、6-5 地点を除く全ての地点で検出されています。

表 3.5　発生ガスの調査結果

（調査；R4～R6 は個所数：16、頻度：年 4 回、R7 は箇所数：8～16、頻度：年 2 回）

項　　目	単位	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	基準値[注 1)]
ガス発生量[注 3)]	L/分	23 ～2007	0 ～3374	26 ～2303	—
メタン	%	不検出～52	不検出～58.7	不検出～46	—
一酸化炭素	%	全て不検出	全て不検出	全て不検出	—
二酸化炭素	%	不検出～24	不検出～39.9	不検出～24	—
アンモニア	ppm	不検出～0.1	不検出～0.2	不検出～0.1	—
硫化水素	ppm	不検出～25	不検出～34.4	不検出～8.8	—
酸素	%	1.9～21	0.4～21.4	5.2～21	—
窒素	%	22～82	7.0～83.6	28～81	—

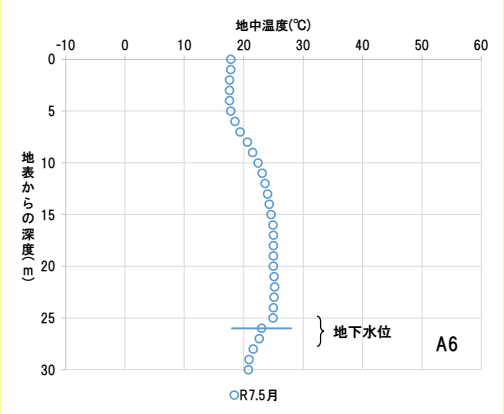
注 1）基準値は無く発生状況を確認し、埋立物の状態について把握しておくこととされています。
注 2）熱線式流量計にて測定を行いました。

（３）地中温度調査

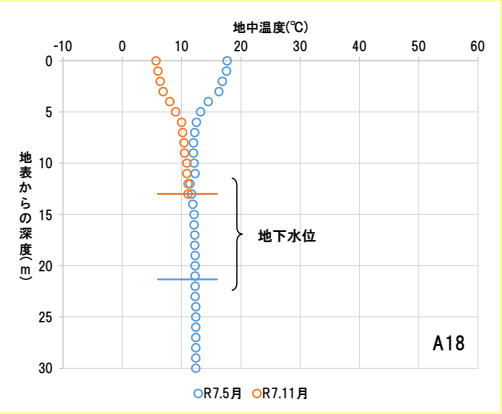
■調査内容：　埋立地の内部の温度を把握するために、既設ガス抜き管 16 箇所及び観測孔 2 箇所で地中温度調査を行いました。

■調査時期：　令和 7 年 5 月 21 日、22 日、11 月 5 日～7 日に実施。

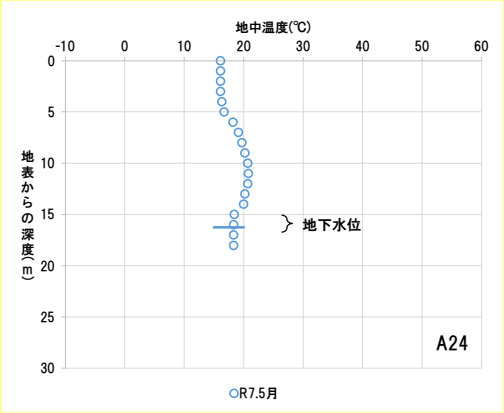
■調査結果：　調査結果を図 3.2.1 から図 3.2.3 に示します。
既設ガス抜き管 A25、A29、A37、6-5 地点の地中温度は、深い深度において 30℃台に達しており、水面以下の温度も他の箇所と比べ高い傾向にあります。これは、廃棄物の分解により生じた反応熱の影響を強く受けていると考えられます。



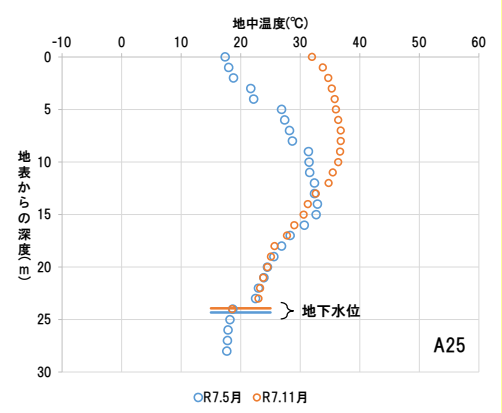
既設ガス抜き管 A6



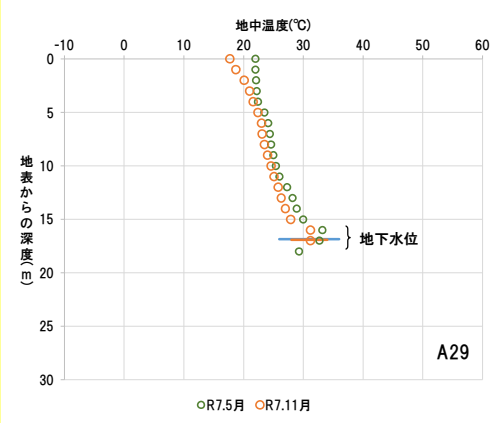
既設ガス抜き管 A18



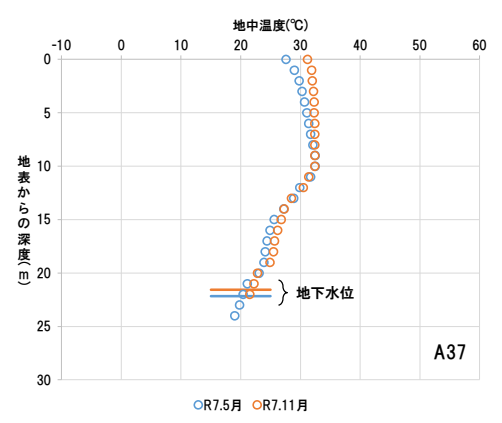
既設ガス抜き管 A24



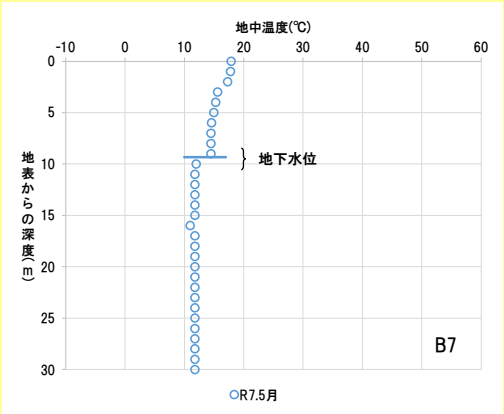
既設ガス抜き管 A25



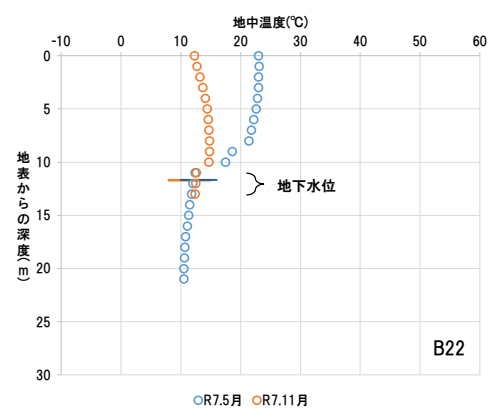
既設ガス抜き管 A29



既設ガス抜き管 A37



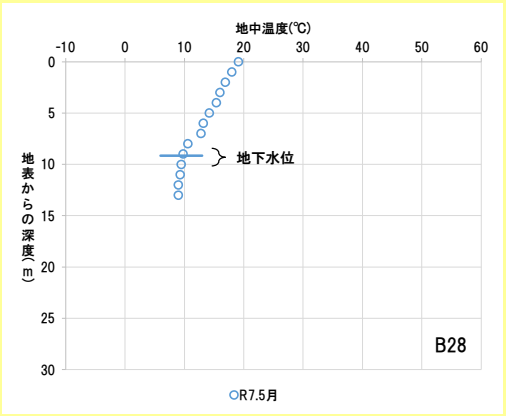
既設ガス抜き管 B7



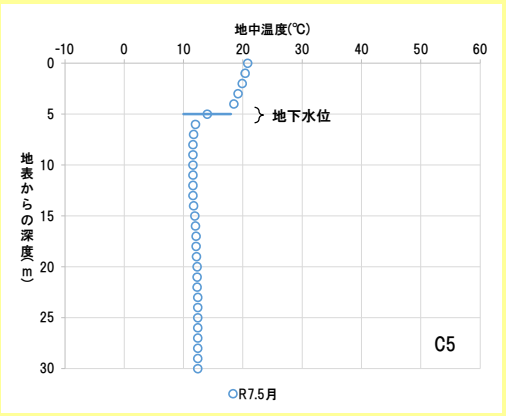
既設ガス抜き管 B22

図 3.2.1 地中温度の調査結果

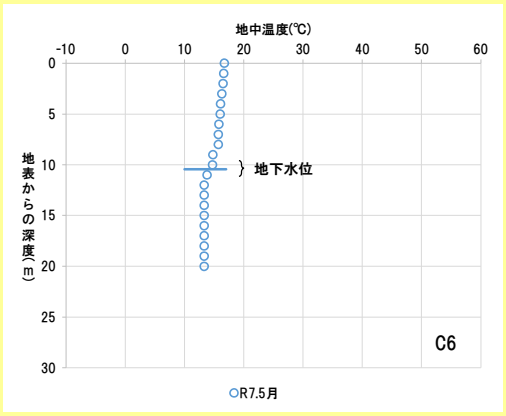
（調査；箇所数：８～１６、頻度：年１～２回）



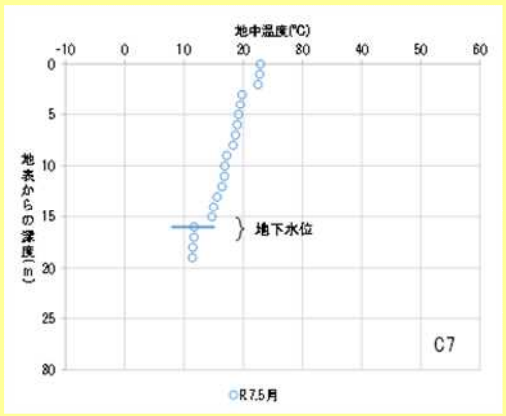
既設ガス抜き管 B28



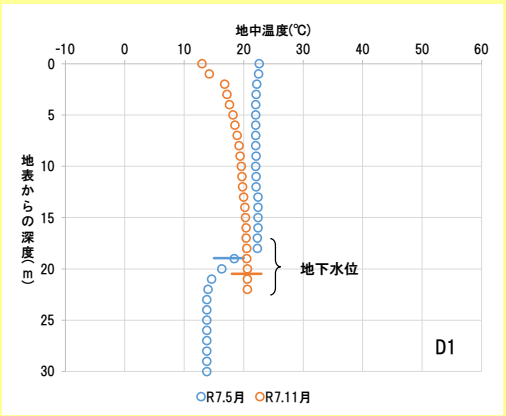
既設ガス抜き管 C5



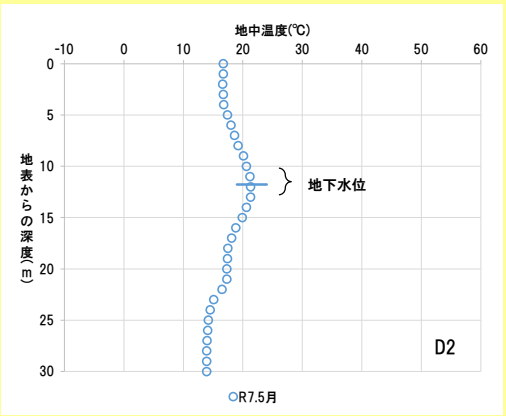
既設ガス抜き管 C6



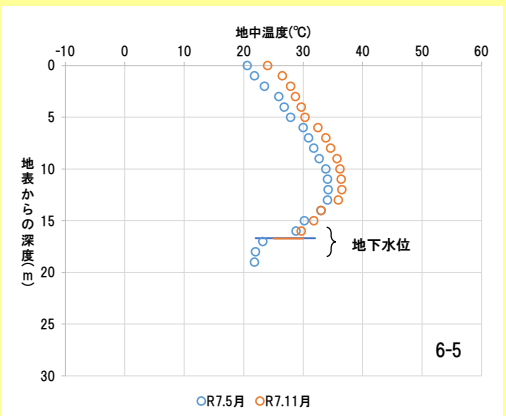
既設ガス抜き管 C7



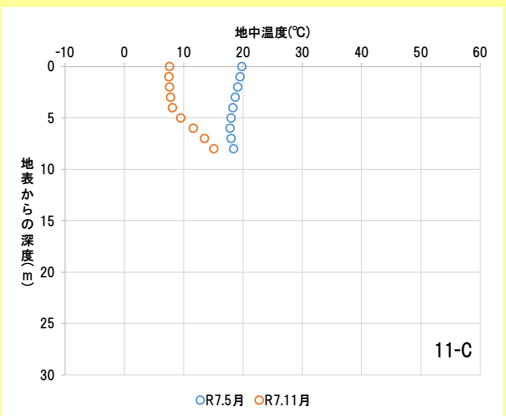
既設ガス抜き管 D1



既設ガス抜き管 D2



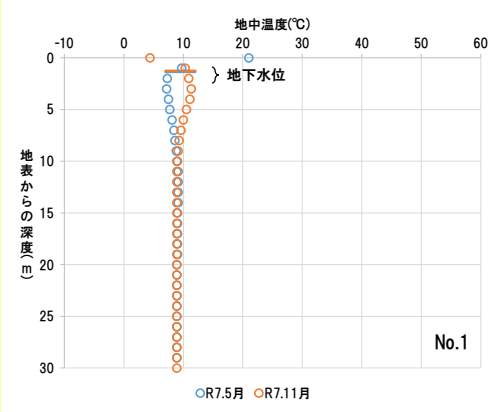
既設ガス抜き管 6-5



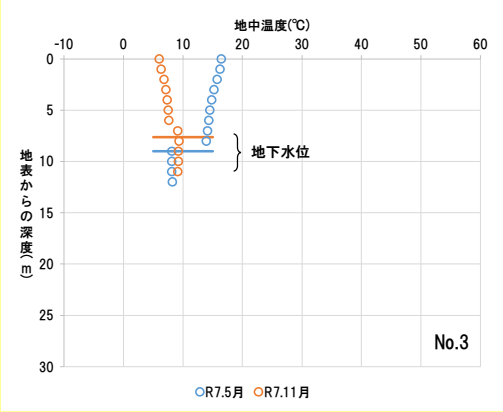
既設ガス抜き管 11-C

図 3.2.2 地中温度の調査結果

（調査；箇所数：８～１６、頻度：年１～２回）



観測孔 No. 1



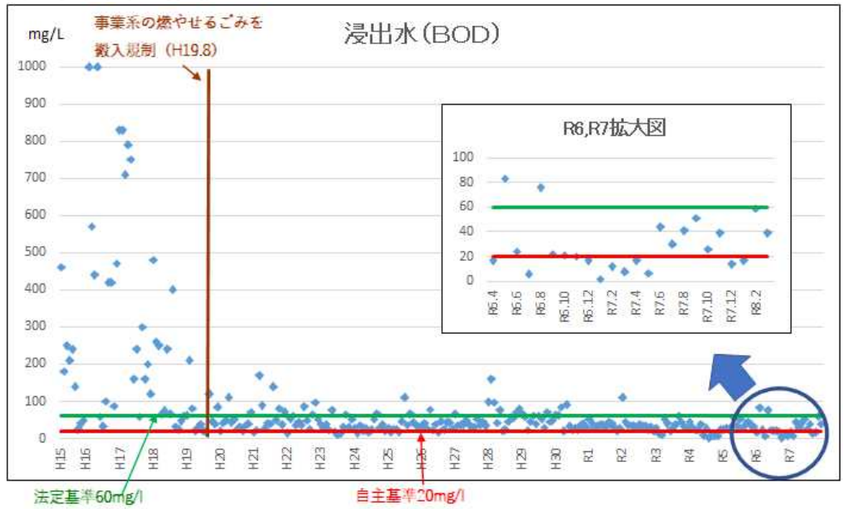
観測孔 No. 3

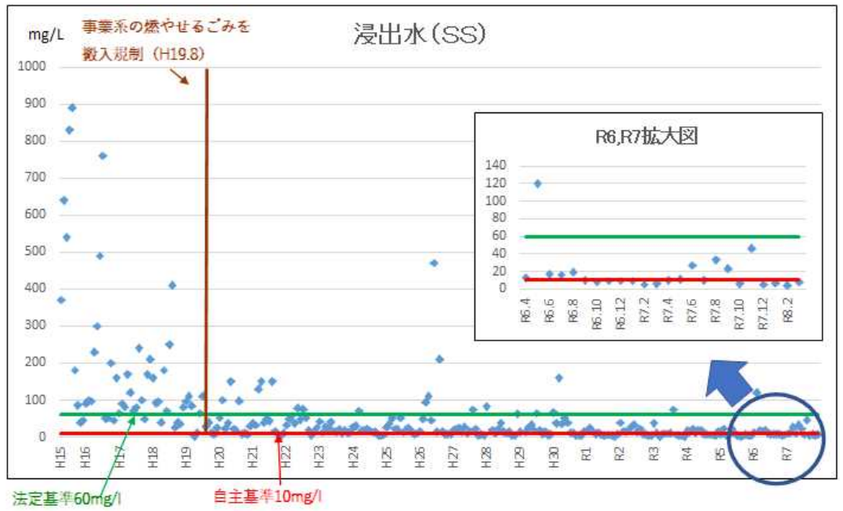
図 3.2.3 地中温度の調査結果

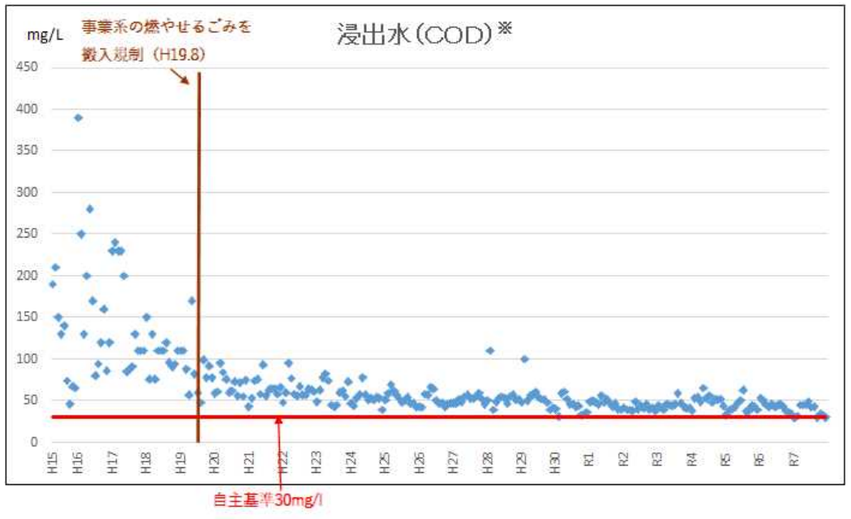
（調査；箇所数～２、頻度～年２回）

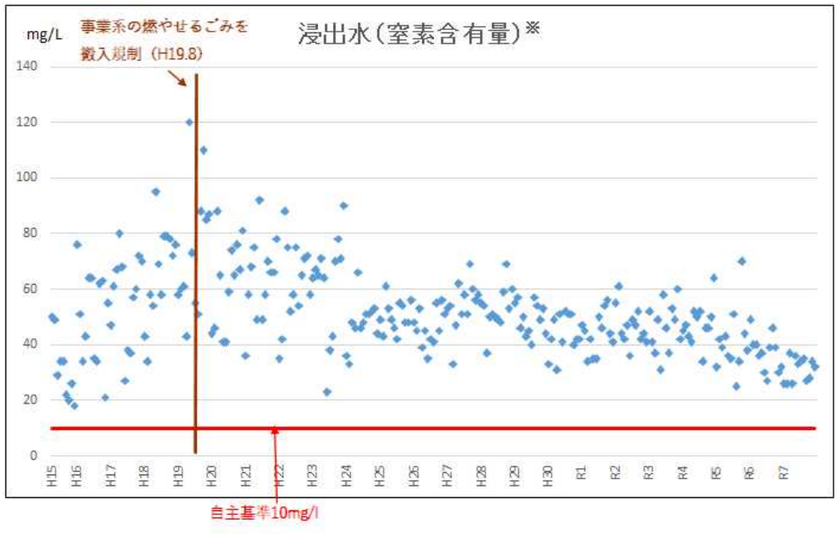
旭川市廃棄物処分場の環境調査結果の推移

1　浸出水等水質の推移



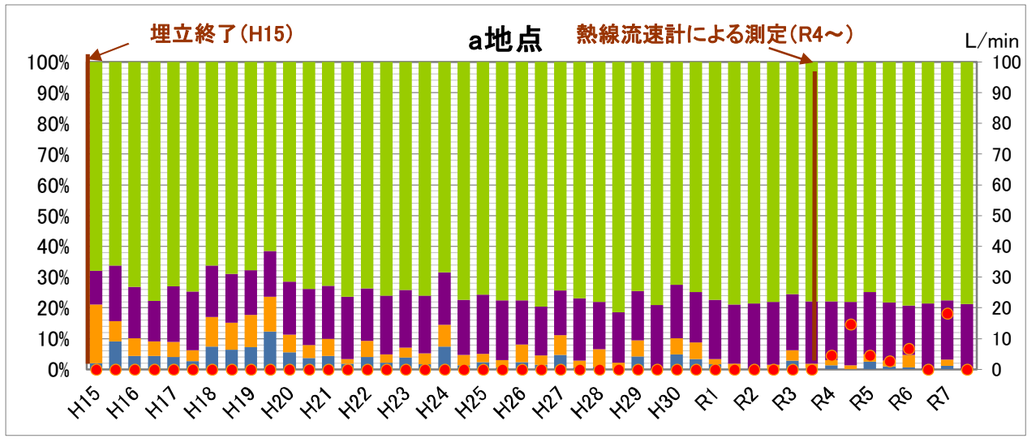


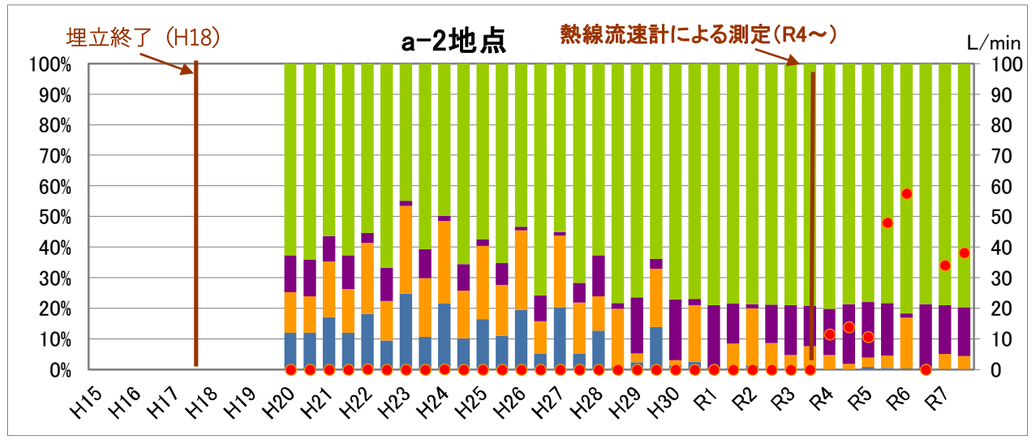


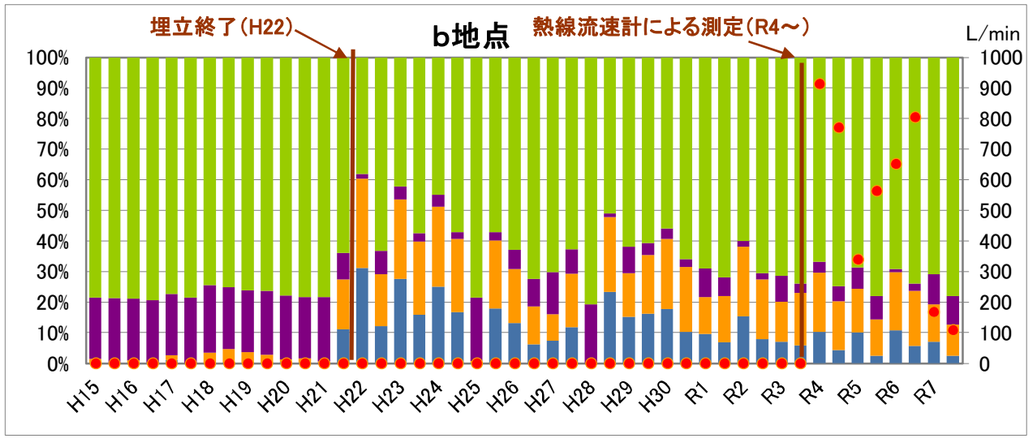


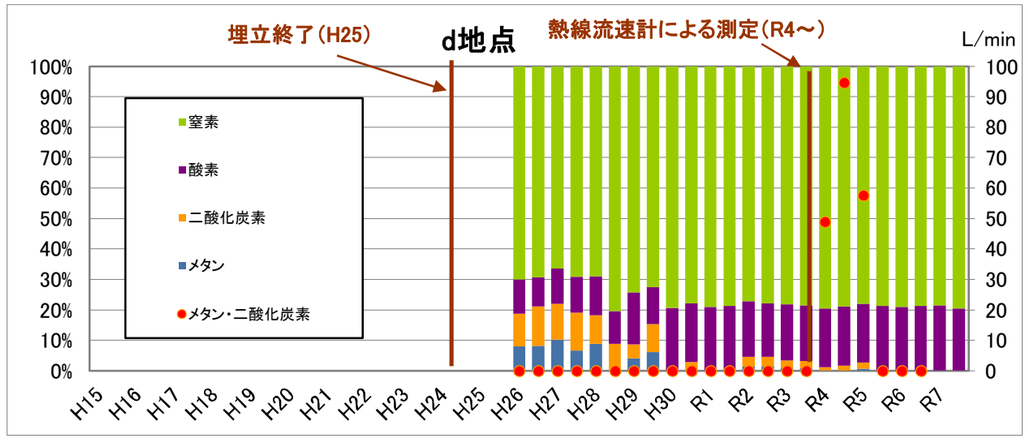
※　河川放流の場合，CODと窒素含有量の法定基準はありません。

2　埋立地内発生ガスの推移

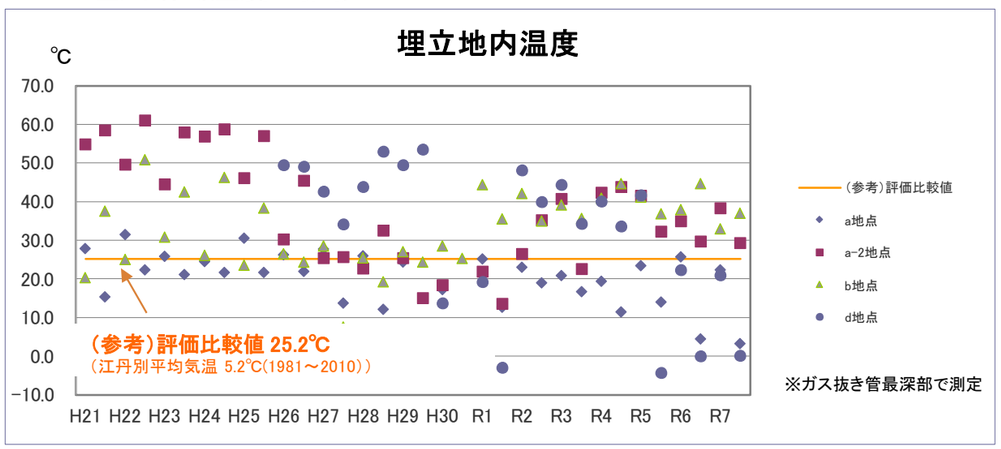


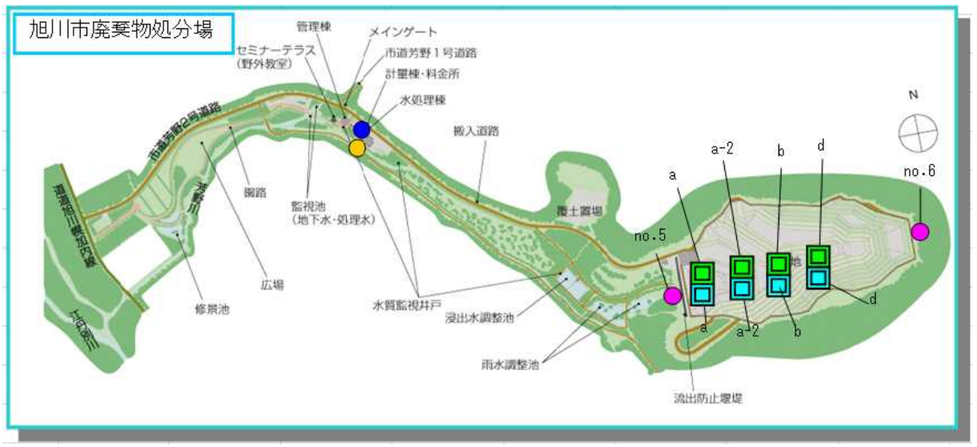






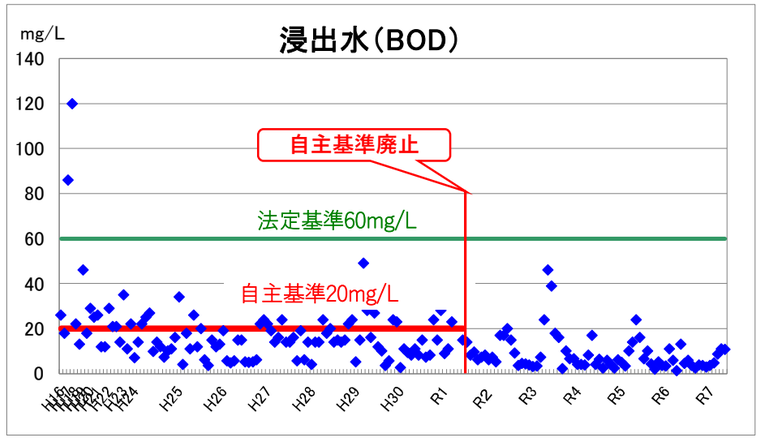
3　埋立地内温度の推移

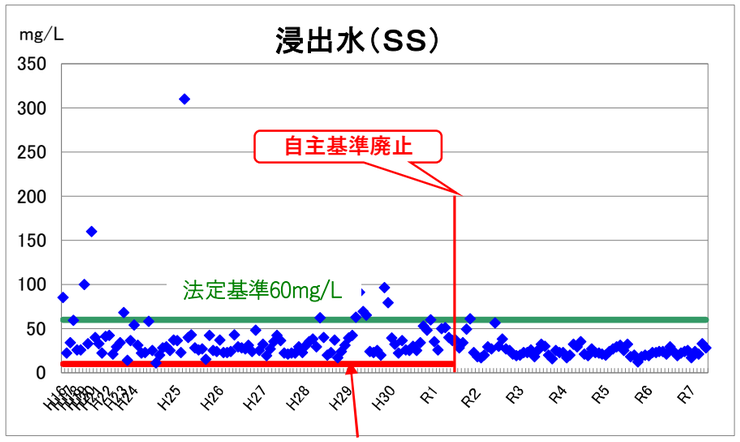




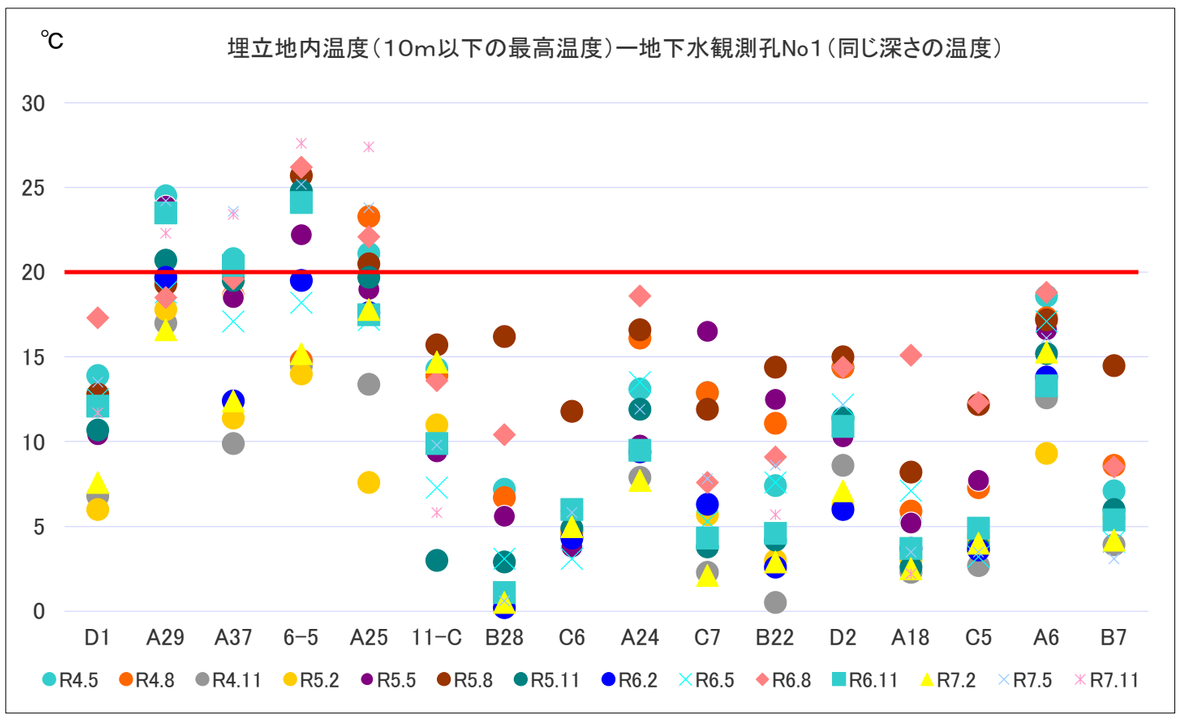
中園廃棄物最終処分場の環境調査結果の推移

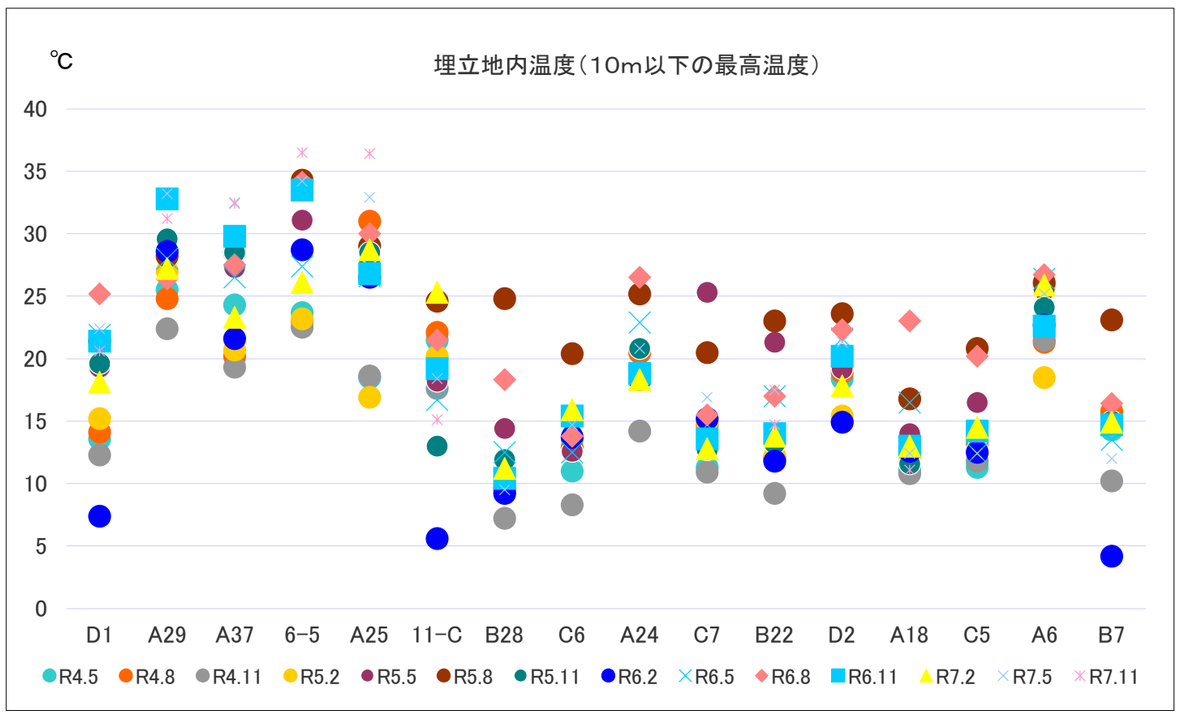
1　浸出水水質の推移



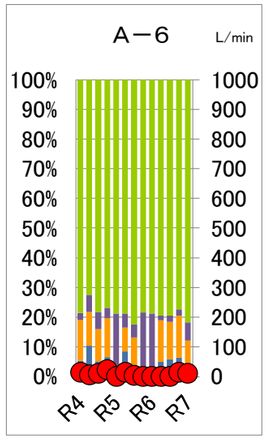


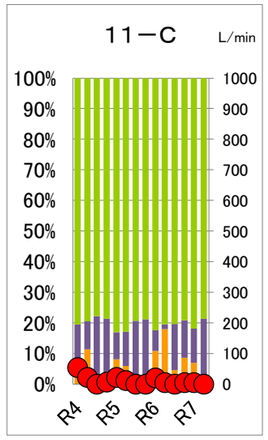
2　埋立地内温度の推移

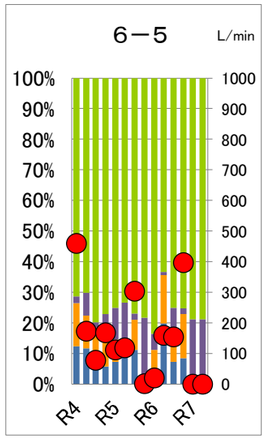


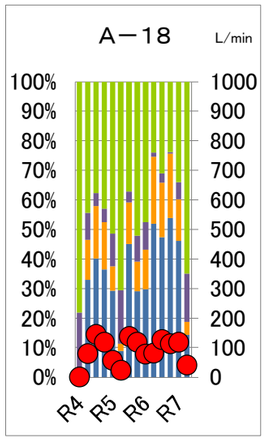


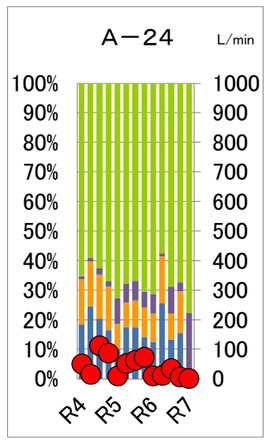
3　埋立地内発生ガスの推移

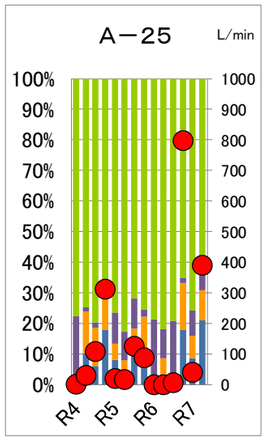


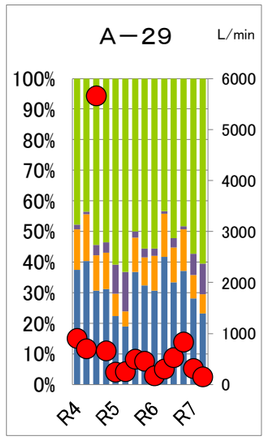


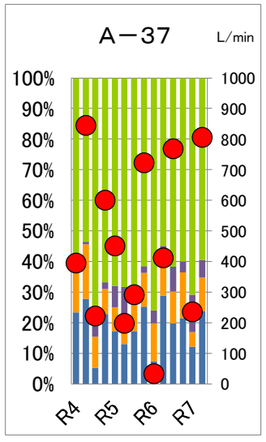


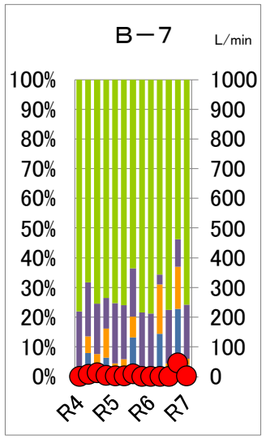


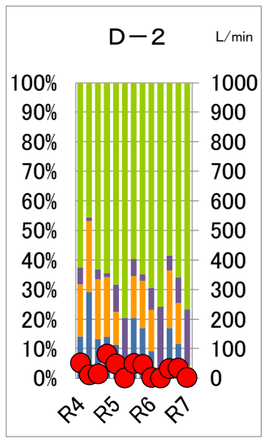


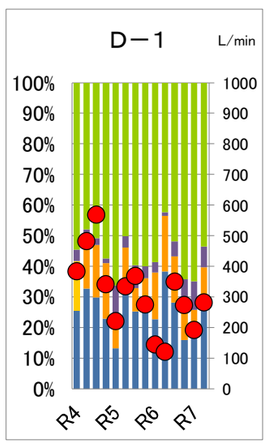


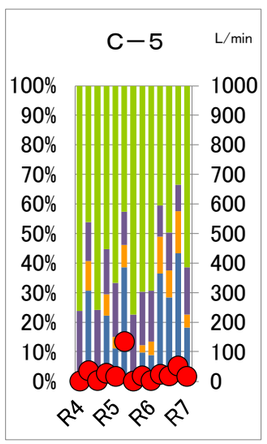


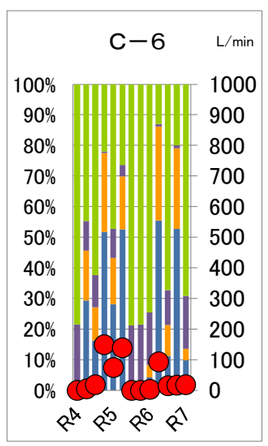


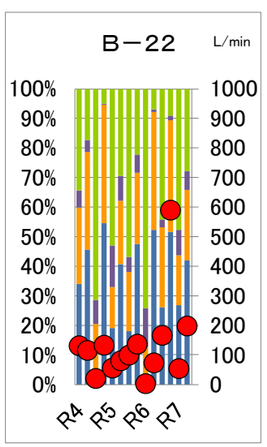


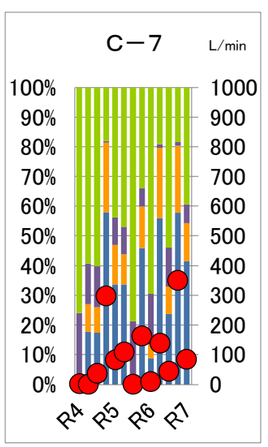


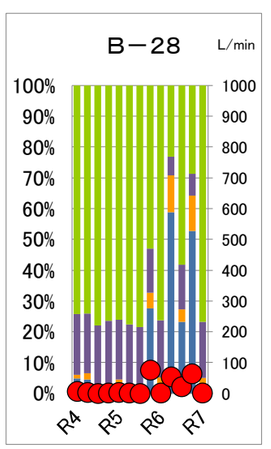


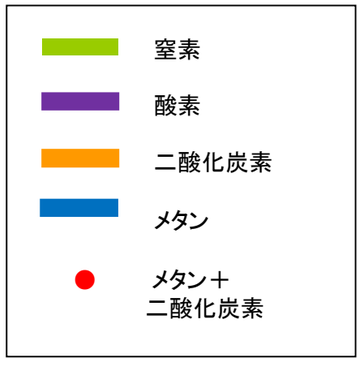


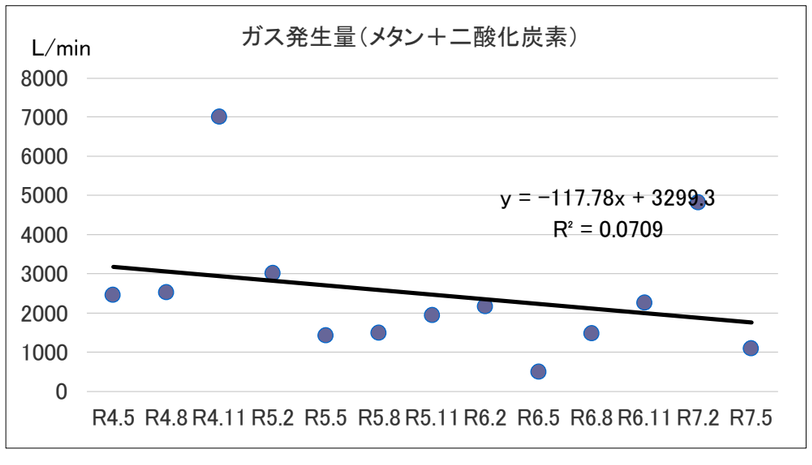












令和７年度　調査地点位置図（中園廃棄物最終処分場ガス抜き管）

